

中學習字帖

一



K220.72

71

1



中學習字帖
一

夫孝德之本也
夫孝德之本也

教之所繇生也
教之所繇生也

主忠信無友不
主忠信無友不

如己者過則勿
如己者過則勿
如己者過則勿

憚改溫故而知
憚改溫故而知

新以可爲師矣
新以可爲師矣

少年易老學難成
少年易老學難成

一寸光陰不可輕
一寸光陰不可輕

未覺池塘春草夢
未覺池塘春草夢

楷前梧葉已秋聲
楷前梧葉已秋聲

師團配備東京仙臺
名古屋大阪廣島熊

本旭川弘前金澤姬
路善通寺小倉高田

宇都宮豐橋京都岡
山久留米鎮守府橫

須賀吳佐世保舞鶴
要港馬公大湊旅順

持居時節柄暑さ日増しに散く
右成り変り方親様は益由様嫌
よく由凌ぎ遊ばされし由目出度

存上の私事も極めて壮健にて毎日
登校勉強致居り皆何事由安神
下り札度の先日は小色使にて名々

帝送り下され正に存更ありかた
古禮りよら試験の滴み次第歸
郷のつもりによ産以骨勉強して

好き成績表を見せ呉るやう
弟妹なども由申し付けられ度
取急ぎお要用のみ申述べの致具

陽氣發處金石亦透
湯藥發處金石亦透

精神一到何事不成
精神一到何事不成

良藥苦於口利於病
良業苦於口利於病

忠言逆於耳利於行
忠言逆於耳利於行

存存地は過日の暴風雨の
ため未曾有の大洪水との事
委細新中紙上に於て承り一因詳き

申しし由宅のあたりは稍高地の
様に記憶致し是は大概大丈夫
かとも存じしども田畑宅の他の

由被害は如何に為る由案じし中
居る由親も此常に心配したし
彼是と由地の事のみにしき

居る次第に付何處由様子由一報
下され度由程中上の事あらず
由尺舞のみ早

德永齋藤康島溝淵穗積
位多高藤若多深淵穗積
澁澤解江華園飛鳥井橘
澁澤解江華園飛鳥井橘
稻葉高倉陸奥鹽見東鄉
稻葉高倉陸奥鹽見東鄉

渡邊錦織廣瀨鷹司蘆野
渡家錦旗廣瀨鷹司是聖
濤崎瀧澤關根糟谷高嶺
濤濤瀧澤昇根松若高嶺
鷲尾馬場櫻井難波結城
鷲尾馬場櫻井難波結城

今朝の官報によればこの度
本校より高等学校に入学許可
せられたる方々左の如くに在るに

由当人の由存びはりまざるもたゞ
本校の名譽も亦これに過ぎず
由同慶に存す

思ヒ立ツ日ガ吉日トハ成功ノ秘訣
ヲ教ヘタル名言ナリ思ヒ立ツヤイ
ナヤ直ニソノ事ニ取リカ、レバ興

味湧クガ如ク我ガ身ノ勤勞ニ服シ
居ルヲ忘レテタゞ快樂ヲ取り居ル
ヲ覺ユルノミ從ツテ事業ノ進捗モ

自ラ速カナリモシ思ヒ立ツ日ニ始
メザランカ當時ノ興味ハ索然トシ
テ消失シ他日コレヲ始ムルニ非常

ノ困難ト苦痛トヲ感ズルノミナラ
ズ最後ノ結果ニ至ツテモ即時ニ着
手シタルニ劣ルコトヲ免レズ

東京市麹町區有樂町

三丁目五番地

長谷川光德殿

侍史

京都市下京區四條堀川町

末廣邸内

飛鳥井雅雄

月日

新年の御慶び芽出たく
申納め存りの御儀に様由揃ひ
益々御機嫌よく由起蒙遊

おされ大賀の至りに存上の
次に私方づれも無事候手
にたゞし御儀ながら由候念

乍これ度の昨手中は何が
帝世活に右成りありがたく
由禮の上の当本年も右か
はらざる由厚情にあつかり
たく先は右由祝詞まで

敬具

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコ
ト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我
カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一

ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我
カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實
ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ
友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レ

ヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ
習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ
進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲
ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義

勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶
翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ
臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ
遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニ
シテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之
ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施
シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺

シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽

92707

大正六年九月 岡田起作書

大正六年十月二十九日 印刷
大正六年十一月一日 發行

中學習字帖
著作權所有

定價 金廿三錢

編輯者	發行者	印刷者	印刷所
岡田起	立田義元	渡邊太郎	日清印刷株式會社
<small>東京市墨田區下六番町四番地</small>	<small>東京市神田區小川町一番地</small>	<small>東京市牛込區榎町七番地</small>	<small>東京市牛込區榎町七番地</small>

發行所
東京市神田區小川町一番地
文會堂書店
電話本局一四二一
東京東管一五三番

